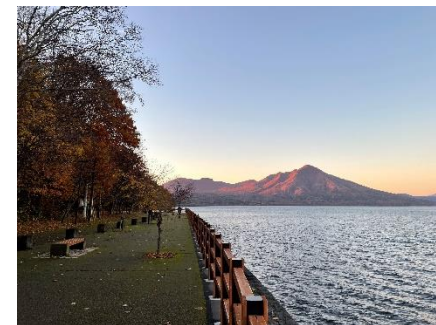


千歳市・支笏湖の取り組み（全国第6号）

※令和4年3月29日時点

1. 千歳市と支笏洞爺国立公園

- ✓ 支笏湖は北海道千歳市に位置し、日本北限の不凍湖としてその湖と森と火山の織り成す景観美が魅力。
- ✓ 空港から近く、支笏洞爺国立公園内でも特に利用者が多い。
- ✓ 令和4年2月7日に千歳市がゼロカーボンシティを表明。



2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

①再生可能エネルギーの活用

- ・水力発電によって大部分の電力が賄われている支笏湖地域。
- ・ゼロカーボンアクティビティ※商品の造成、ふるさと納税返礼品としての活用など、ブランド化に取り組んでいる。

※水力発電の電力を活用した電動自転車とカヌーを使って支笏湖から空港まで移動する。



②二次交通の脱炭素化

- ・ビジターセンターでの電動自転車の貸出しや、E V 充電設備の設置等による地域全体での脱炭素化を推進。



千歳市・支笏湖の取り組み（全国第6号）

※令和4年3月29日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

③ゼロカーボン又は環境配慮型アクティビティの推進

- ・ゴミ拾いダイビング等の環境配慮型アクティビティを実施。
- ・電動船による湖面巡視等、支笏湖の管理やアクティビティにおいてもゼロカーボンを目指す。



④サステナブルな観光地づくり

- ・除伐・伐採木、落葉等のバイオマスや物品製作での再利用。
- ・支笏湖を代表する「氷濤まつり」での※環境配慮の取り組み。
- ・ゼロカーボンパークの取組の道標となる「支笏湖スタイル」を設定、その認定基準や認定マークを創出。



※人工物のまつり資材を除伐・伐採木等に転換、落ち葉を入場券に変える等し、ごみや紙使用を減らす。

3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所の伴走支援や、直轄施設における太陽光パネル、E V充電設備、地中熱ヒートポンプの導入等により、地域の脱炭素化の取り組みを後押し。